

令和8年度こども霞が関見学デーの結果報告 と 総務省・公調委キッズページのご紹介

公害等調整委員会事務局

1 こども霞が関見学デーについて

公害等調整委員会は、令和8年7月29日(水)・30日(木)の2日間、「こども霞が関見学デー」のイベントを中央合同庁舎第2号館で開催しました。(公社)日本騒音制御工学会のご協力のもと、音の体験学習と工作を実施しました。2日間で合計857人(こども463人、保護者等394人)の方々にご参加いただきました。

施し、体験学習ではリラックスボックス(耳を休める場所)や、いろいろな高さの音、音色の違いなどを体感しながら学ぶことができる内容で、モスキート音やゾウの会話、風鈴の聴き比べなどを来場者に体験していただきました。

プログラム

音で遊ぼう! ~音の体験学習と工作~

- リラックスボックス(耳を休める場所)を体感しよう!
周囲より静かな場所をつくる補助具について知る
- 音に関する工作
ストロー笛を作成してみよう
- いろいろな高さの音を聞いてみよう!
高い音・低い音はどんな音?
(モスキート音、ゾウの会話など)、身近な音のクイズ
- 音の大きさをはかってみよう!
掃除機や楽器の音の大きさを騒音計ではかる
- 音色の違いを体感しよう!
風鈴の音色の聴き比べ



音の大きさをはかる様子

耳を休める場所を体感できるリラックスボックスは、段ボール箱の内部に吸音材を張り、静穏な環境を確保するための補助具です。ボックス内に頭を入れて周囲の音から逃れて耳を休めたり、気持ちを落ち着かせたい際に使用します。小学校や保育施設など、一室内でたくさんの児童が過ごす施設では、かなりの騒音が発生しますが、室内に置き、持ち運びできる大きさなので、教室内等で活用されています。

今年度のプログラムは、「音で遊ぼう」をテーマに音の体験学習と音の出るもの工作として実



リラックスボックス体感している様子



リラックスボックス

こどもでもできる工作として、ストロー笛を作成していただきました。ストローの先端を押しつぶし、つぶした部分の先端を三角に切り、切った先端を前歯で軽く挟んで息を吹き込んで音が出る仕組みで、音階の長さの見本をテーブルに置いてあり、その見本に合わせてはさみで好きな色や太さのストローを選んで切り、最後にテープでひとまとめにしてストロー笛の完成です。ストロー笛は、作成したものを持ち帰ることができるため、ご参加の方にも好評でした。

また、混雑時に受付前で待っていただく間、おこさまに「仲直りする方法を教えてください」と質問をしたところ、ほとんどのおこさまは「謝る」と回答し、なぜそのような質問をするのか不思議そうな表情の保護者の方には、公害等調整委員会がどのような機関なのかを説明し、公害紛争処理制度を知っていただくきっかけになりました。

どのコーナーも、多くの方々にご参加いただきました。両日ともに暑い中、ご来場ありがとうございました。



音が出る物の工作の様子



ストロー笛

こども霞が関見学デーとは

霞が関に所在する各府省庁等が連携し、所管の業務説明や関連業務の展示等を行うことにより、夏休み期間中にこどもたちに広く社会を知ってもらうこと、政府の施策に対する理解を深めてもらうこと、活動参加を通じて親子の触れ合いを深めてもらうことを目的とした取組です。

2 キッズページについて

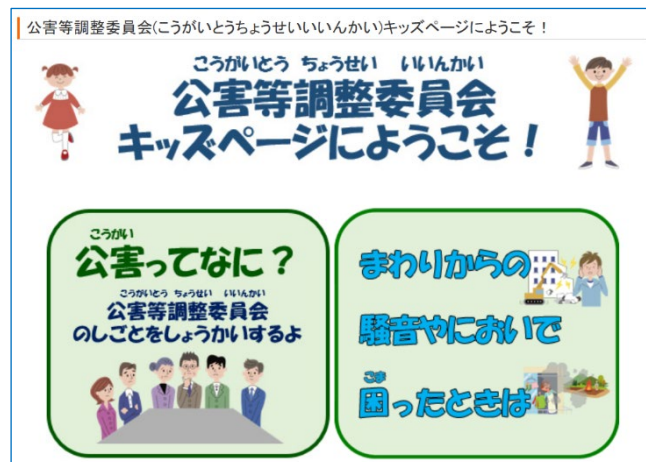
①公害等調整委員会ホームページ

公調委ホームページ内の「公害等調整委員会キッズページ」では、公害や公害紛争処理について、主に小学生に向けてわかりやすくご紹介しています。

ぜひ夏休みの自由研究や日頃の疑問などのご参考にしていただければ幸いです。

以下の URL・QR コードからご覧いただけます。

<https://www.soumu.go.jp/kouchoi/kids.html>



②総務省ホームページ

総務省ホームページ内にもキッズページがあります。総務省は幅広い分野を担当しています。そのお仕事内容を5つの恐竜で紹介しています。

公害等調整委員会のお仕事については、タスケルサウルスで説明しています。

以下の URL・QR コードからご覧いただけます。

https://www.soumu.go.jp/menu_kyotsuu/kids/index.html

